

■芸術監督からのメッセージ

城崎国際アートセンターは開館四年目を迎えます。これまで国内外での知名度を飛躍的に高め、一方で地域での理解も広がってまいりました。公開リハーサルやワークショップには多くのお客様に訪れていただいています。演劇、ダンスが中心のレジデンス施設ですが、美術系のインスタレーションや、演劇的手法を使った教育プログラムなど、幅広い分野の皆さんにご活用いただいています。

ぜひ、2018年度も多くのアーティストに、城崎を訪れていただければと願っています。

地域交流プログラムは、アーティストの特性に合ったものを期待しております。この施設は、何よりも作品創作の芸術性を最優先します。短期的な成果も問いません。作品の構想段階でも施設の利用が可能です。将来にわたって、人類の財産となるような作品を、一つでも多く、この城崎、豊岡の地から生み出すことが、この施設の最大の使命です。

その前提のうえで、もしも何か、少しでも地域に還元していただけるものがあれば、とてもありがたいと思います。作品の創作過程も、地域交流の在り方も決して一つではありません。是非、皆さんの豊かな発想で、新しいアートセンターの使い方を、積極的に提示してください。

平田オリザ（城崎国際アートセンター 芸術監督）